

## 法人内研修 他職種理解②

社会福祉士とは何か。ヨハクの相談支援専門員として従事する山内智史さんは、社会福祉士の資格を有する。講義は社会福祉とは何か、から説明が始まり、「本人は変わらなくても良い。周りが変わって生きづらさを解消していく」ことこそが社会福祉の真髄であると語られた。つまり、社会福祉は本人に変容を求めないといったことである。そのため、社会福祉の射程範囲は、本人を取り巻く環境に対しての働きかけであることが強調された。他方、ソーシャルワークのグローバル定義は「社会変革と社会開発、社会的結束および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である」ことが紹介された。さらに、ソーシャルワークの射程として、ミクロレベル（個人・家庭・グループ等）、メゾレベル（病院・施設・行政・町内会・NPO等）、マクロレベル（制度・施策等）として整理されている。

次に相談支援専門員についてテーマが報告された。まず、相談支援専門員の成り立ちについての説明が行われ、障害者福祉は平成15年までは契約ではなく措置（本人が選択できない）の時代であった。つい、20年前のことである。その後、契約（本人が選択できる）の時代が到来し、情報を持ち合わせない利用者の相談支援を充実が図られ、NPO法人や民間企業など多様な経営主

体の参入が広がり、相談支援の量の拡大が促進された。

相談支援専門員は直接的な支援を行うのではなく、本人の困りごとと一緒に悩み、援助者や社会資源をつなげていく役割がある。車の助手席が例えとして挙げられ、あくまでもハンドルを握っているのは本人であり、相談支援専門員は助手席に乗っていることがイメージとして共有された。相談支援のなかでも多くの割合を占めている「計画相談支援」については、①サービス等利用計画・サービス担当者会議、②モニタリングの2つが報酬の発生する業務であり、制度設計上関わりの頻度が少ない状況がある。ヨハクの場合は、「毎月」や「3ヶ月」のモニタリング頻度が90%以上であること報告された。

最後に、地域移行支援についてがテーマとして共有された。地域移行支援（一般相談支援のなかで大別される相談支援の一つ）は長期入院状態にある方の退院支援を行う制度である。実際の内容としては、月2回以上対面で本人と会い、退院後の生活を一緒に検討していく。地域移行支援自体は制度化されて10年ほど経過しているが、実績としてはとても少ない。精神保健福祉に力を入れる法人としては、今後、川越近隣の精神科病院等に長期入院状態にある方の退院支援を積極的に行っていきたいとの意向が表明された。

## 今月のスクープ スタッフが結婚しました

看護師の坂本さんがこの度入籍し、青山さんへと変わりました。

以下、戸田からのお祝いメッセージ

「結婚という新しい旅の始まりですね。お二人の旅は時に困難に直面することもあるかもしれませんが、しかし、二人ならその困難を乗り越えられると思います。そして、愛に溢れた人生になることを願っています。ご結婚めでとうございます」



上記、法人内研修の様子

## 深谷太一弁護士（第二東京弁護士会所属）の自己紹介

私の相談者から良く寄せられる質問に予め回答させていただきます笑。

Q なぜ弁護士になったんですか？なぜ精神科の分野に関わっているんですか？

A 漠然と人の役に立てそうと思ったのと、理科系ができなかったためです。

5年ほどの企業法務を経て、精神科に入院経験のある友人の紹介で戸田さんなどに会い、米国留学後、独立して、現在の活動をするようになりました。

ご相談に乗っていると、社会的な問題が多すぎて途方に暮れるときもありますが、今やっと自分のやりたいことが見つかったという感覚です。

海外留学の経験があることから、海外の当事者運動やレスパイトなどを知って希望をもらっています。

幼少のころからアトピー性皮膚炎で、詳細は省略しますが医療が嫌いになり、このことも今の活動に大きな影響を及ぼしているように感じます。

Q 何歳ですか？

A 11月で35歳になります（昭和63年生）。20代に見えると言われることもあれば、40代に見えると言われることもあります。

Q 休みがないのではないですか？

A かなり自由な生活をしており、休日・平日問わず気が向いたら仕事をしています。若いころは朝型でしたが最近、夜型の日が多くなってきました。ジャズピアノの練習が日課で、たまに戸田さんと料理を作っています。弟の影響でワインソムリエの勉強中ですが、10月の試験は多分不合格です...

Q 誰かに嫉妬しますか？（これは1人にしか聞かれていません笑）

A しません。

## オススメ Book

### 「リハビリの夜」

シリーズ ケアをひらく

著者：熊谷晋一郎

本書は、小児科医であり脳性まひの当事者である著者が、リハビリの実体験をもとに専門家との関係性や自身の心身との向き合いを記した作品である。



### ハンバーグ工房

（埼玉県川越市大字砂新田 129-1）

川越街道沿い、ヨハク事務所の近所にあるハンバーグ屋さん。ハンバーグを注文すると、サラダ、カレーライス、飲み物、デザート等は食べ放題で、満足度が高い。無論、ハンバーグの美味しさも一級品。